

【取組内容】 学習者主体の授業デザインを構築するための「授業構想シート」の作成と実践、共有

【目的】

- ・ 授業者が「自己決定」「能動的な協働」「自己調整」の各場面で必要な支援を具体的にイメージし、準備できるようになること
- ・ 授業の前後で自己点検を行い、新しい授業観に基づく授業になっているかを確認すること
- ・ 作成したシートを校内で共有し、異教科間でも共通の視点をもって授業研究を深められるようにすること

表 授業構想シート例（英語科）

	目指す具体的な学習者の姿	端末・クラウドの活用	学習者・学級の現状、 本時の学習内容をふまえた留意事項
自己決定を促す場面	(a)ルーブリックを参照し自分自身の目標を決める。 (b)授業を通して個人、ペア、グループなどの学習形式を自己決定する。 (b)目標到達までの手順を自己決定する。	(a)Sceneごとのルーブリックを参照し進捗確認シートに記入する。 (b)相談する相手やタイミングを知るために進捗確認シートを活用する。 (b)目標到達に向けて、スライドの単元計画、デジタル教科書や文法動画、教師が撮影したお手本動画を活用する。	(a)自身の目標設定時には、ゴールを意識して目標を設定させること、迷う生徒には他者参照を促す。 (b)進捗確認シートを参照して活動の相手やアドバイスをもらう生徒を選択するよう促す。
a 個人のめあて			
b 解決手順・手段			
c その他（ ）			
他者と能動的な協働を促す場面	(g,h,i)他の生徒が考えたALTへの質問を、参考にしたり真似をしたりする。 (h,i,j)授業を通して、自分の進捗状況や考え、解答を進捗確認シートに記入し、情報を共有する。 (i,j,k)活動の前に友達と練習する時間を設ける。	(g,h,i)単元計画に貼り付けている他の生徒のスライドを活用する。 (h,i,j)スプレッドシートで作った進捗確認シートを活用する。	(h,i,j)生徒のよい学びや方法について紹介したり、間違いに気付くアドバイスを、生徒が意欲的に学ぶ意識を高めると同時に、遅れている生徒を励ましなが全員でゴールに到達する支援をする。
g 伝達			
h 情報共有			
i 参照・真似			
j 比較・検討			
k 批評			
l その他（ ）			
自己調整を促す場面	(d)授業を通して、動画や他の生徒からのアドバイス、他の生徒のスライドや進捗確認シートなど参照し自己修正を行う。 (e)ゴール到達までの時間配分を行い、学習計画を修正しながら進める。	(d)デジタル教科書や動画、サイト、進捗確認シートを活用する。 (e)進捗確認シート、単元計画を活用する。	(d)進捗確認シートやスライドにおいていつでも他者の解答や意見を参照し、考えの修正を行うようにする。 (e)先渡ししている単元計画をみてゴール到達までの時間や方法を授業や家庭学習などで調整できるようにする。
d 考えの修正・調整			
e 学習計画・方法の修正			
f その他（ ）			

このシートで、学習者の行動や対象を具体的にし、端末・クラウドの活用場面や方法を明確化させ、授業者が学習者の行動を引き出すためにどのように支援するかを具体的にイメージすることをねらった。ただし、自己決定、自己調整、能動的協働の3つの場面は相乗し合うものと考え、時間軸を表すものではない。



指導者が目指す授業の方向性が明確になり、共通した視点で授業を作ることができるようになった。

【取組内容】 学びのロードマップで単元を見通す(英語科の例)

My Goal	Home	Pencil	Book	Music	Smiley	Activity	Practice
ひやくすく質問しよう。							a volleyball light a see
考えた疑問をダン先生に質問してみよう	●						
ダン先生に彼女の好みを質問する			●	●	●		
ダン先生に彼女に好きなものについて質問する							A baseball is bigger than a tennis ball. A volleyball is lighter than a soccer ball. A tennis ball is the smallest of the five. A basket ball is the heaviest of the five.
ダン先生にガールフレンドの好みを質問するために準備をしよう！	●						
本文理解プリントを終わらせる				●	●	●	
疑問を考えた先生に質問し意見をしよう							A baseball is bigger than a tennis ball. A volleyball is lighter than a soccer ball. A tennis ball is the smallest of the five. A basket ball is the heaviest of the five.
疑問を考えた先生に質問					●	●	A baseball is bigger than a tennis ball.

進捗確認シート

学びのロードマップ (全11時間)

Orientation : Unit 6全体の学びの見通しをもちトピックを決めよう。

Scene① : ダン先生にガールフレンドの好みを質問しよう。

Scene② : クラスみんなの意見を聞いてみよう。

Read and Think① : アンケート結果と具体的な情報を加えた原稿を書こう。

Read and Think② : 友だちからアドバイスをもらおう。

パフォーマンステスト

ダン先生のためにガールフレンドが喜ぶ誕生日プランを提案しよう。

予備の時間 :

学びのロードマップ

この英語科の例のように、各教科で単元の内容や学びの流れを見えるようにするために、学習計画や評価方法等を「学びのロードマップ」としてまとめた。この中に、学習に必要なサイトへのアクセスを簡単にするなどの工夫を行った。生徒は自ら必要な情報を積極的に取得するようになった。

1. 授業の概要とねらい

比較表現の習得と調査・発表力の育成を目標とした。生徒主体の学びを促すため、進捗確認シートと学びのロードマップを活用した。

2. 進捗確認シートの活用とその効果

進捗確認シートは、生徒の自己決定、他者との連携、自己調整を支援する目的で導入した。生徒は、目標設定、学習方法の選択、他者の進捗状況の参照などを通して、主体的に学習を進めた。特に、目標設定におけるループリックの活用や、他者との情報共有は、学習意欲の向上と協働的な学びを促進した。

3. 学びのロードマップの活用とその効果

学びのロードマップは、単元全体の学習の流れを可視化し、生徒に見通しをもたせるために提示した。これにより、最終目標に向けた学習計画を把握し、個々の活動の意義を認識することができた。パフォーマンス・テストの位置付けを明確にしたことで、ゴール達成へのモチベーションを高める効果もあった。

4. 授業における具体的な取り組み

授業は、ロードマップに沿って進める。Scene1でのALTへの質問や、Scene2でのクラスメイトへのインタビューは、生徒の主体的な情報収集とコミュニケーション能力向上に貢献した。Read and Thinkでは、プレゼンテーション原稿作成と相互評価を通して、思考力・表現力を高めた。

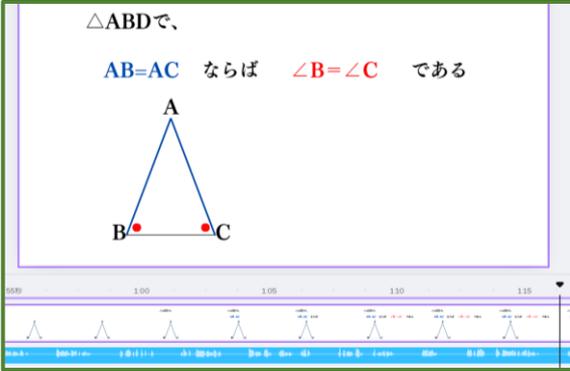
5. 考察と今後の課題

進捗確認シートと学びのロードマップの活用は、生徒の主体的な学習を促進し、学習意欲向上に貢献した。生徒は自身の進捗を把握し、協力しながら課題解決に取り組んだ。今後の課題として、進捗確認シートの記述内容の具体化による自己調整の促進、生徒に合わせたロードマップの個別化、デジタルツールの更なる活用などが挙げられる。

6. 結論

進捗確認シートと学びのロードマップは、生徒主体の学びを効果的に促進するツールとして有効であった。今後もこれらのツールを活用し、生徒の主体的な学習を支援していく。

【取組内容】 予習動画をクラウドで共有し家庭でも視聴可能に



Webデザインツールによる予習動画作成

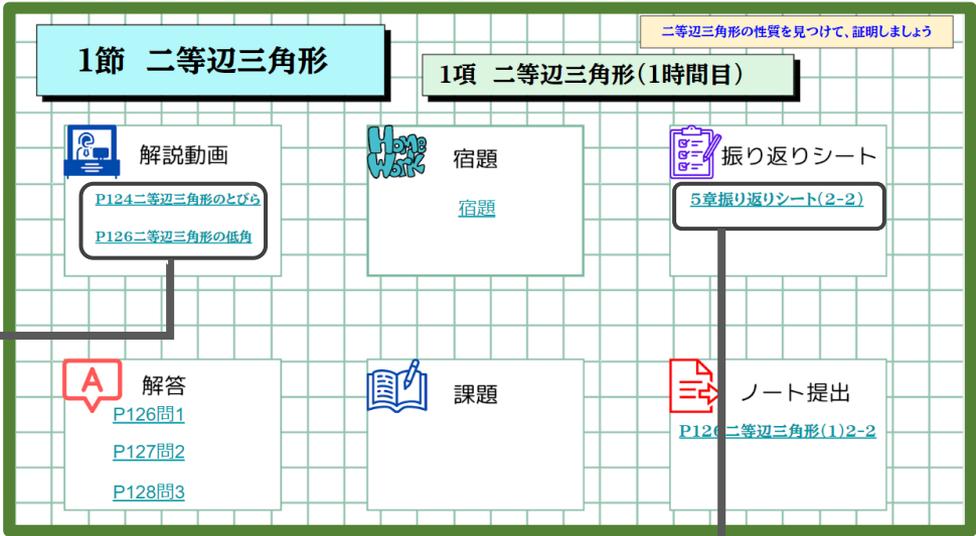
- 家庭学習の時間が少ないという本校の課題を解決するために、予習をして授業に取り組むスタイルを取り入れた。
- 教科書だけではなく、予習動画も作成して、「言語優位」、「視覚優位」など、生徒が自分の特性に応じて予習できるように、方法を複数提供した。
- 予習による理解度は、フォームで事前に確認し、必要に応じて、支援を行った。
- 予習をもとに、生徒が自分で本時のめあてを設定し、主体的な学びにつなげた。



1節 二等辺三角形

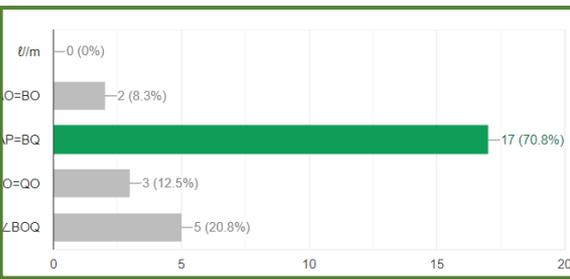
解説動画
P124二等辺三角形のとびら
P126二等辺三角形の低角

クラウドで共有している解説動画

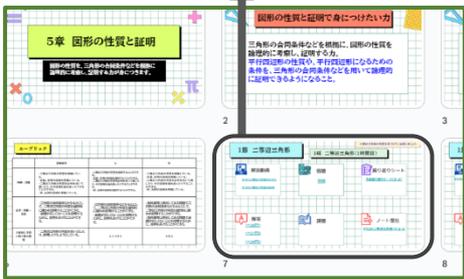


本時の学習の流れ

生徒は、学習内容の予習をもとに、めあてを自分で決めて入力してくる。授業後には、振り返りシートに「学習内容」「学習方法」の2面から記入する。



予習による理解度の把握結果



単元全体の学習の流れ

学習内容	めあて	学習内
二等辺三角形の基本性質とその証明・定義定理の意味・2角が等しい三角形は二等辺三角形が成り立ち、逆も成り立つこと。	二等辺三角形の性質を見だし、それを用いて図形の性質を証明できるようにする	2つの辺が等しい三義と、使う言葉の意味。
二等辺三角形の基本性質とその証明・定義、定理の意味	二等辺三角形の性質を見つけて、証明する	2つの辺が等しい三義と、使う言葉の意味。
二等辺三角形についてフローチャートを使って説明する	新しい重要語句と習っていた重要語句を使う	前までしていた合同フローチャートから
二等辺三角形の基本性質とその証明・定義、定理の意味・2角が等しい三角形じゃ二等辺三角形が成り立ち、逆も成り立つこと。	二等辺三角形の性質を見だし、それを用いて図形の性質を証明できるようにする。	2つの辺が等しい三義と、二等辺三角こと。
二等辺三角形の基本性質と	今日の学習で、二等辺三角	今日の学習で、AB=

振り返りシート

単元の流れは、スライドで生徒に事前に配布している。生徒はこれを見て自分で見通しを立てて学習ができる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄中学校

【取組内容】 チャットツールによる校務のDX

課題：学校における電話連絡の課題

頻繁な電話連絡:体調確認、早退連絡、面談日程調整など、様々な目的で保護者へ頻繁に電話連絡を行っている。

電話連絡のタイミング:授業の合間に電話をかけることが多く、電話後も職員室に留まらないため、情報共有が難しい状況がある。

電話連絡者の不在:事務職員や養護教諭も連絡のために電話をかけることがある。

折り返し時の混乱:保護者が電話に出られなかった場合、着信履歴を見て折り返しの電話があるが、誰が何の目的で電話をかけたのかが不明確で、保護者に不信感を与える可能性がある。

情報共有の欠如:誰が、誰に、何の目的で電話をかけたのか、折り返しがあった場合の対応について、職員間で共有する仕組みがない。

解決策：校務DXによる電話連絡の効率化と情報共有

チャットの活用:職員間の情報共有に利用していたチャットツールに、「架電連絡」という専用のチャットスペースを新設した。

架電情報の共有:電話をかけた際、相手が不在だった場合、以下の情報をチャットスペースに記録・共有。

誰が：電話をかけた教職員の名前

誰に：電話をかけた保護者の名前

目的：電話をかけた目的（例：欠席連絡、早退連絡、面談日程調整など）

折り返し時の対応：折り返しがあった場合の対応方法（例：担当教員に連絡、事務室に連絡など）

効果：校務DXによる課題解決と業務効率化

折り返し電話への迅速な対応:架電情報が共有されることで、折り返しの電話に誰が対応すべきか、どのように対応すべきかが明確になり、迅速な対応が可能になった。

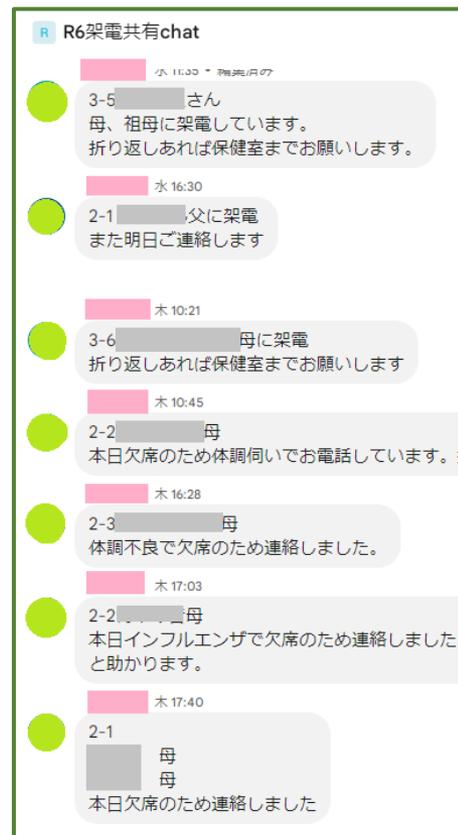
保護者への安心感の提供:誰が、何の目的で電話をかけたのかが明確になったことで、保護者の不信感を解消し、安心感を提供できるようになった。

生徒の安全確保:特に早退で迎えが必要な場合、保護者への連絡がスムーズになり、生徒を迅速に保護者に引き渡せるようになった。

教職員間の連携強化:架電情報を共有することで、教職員間の連携が強化され、組織としての対応力が向上した。不在であったとき、折り返しがあるまで待たなければならないと考える必要が「自分だけでしなければならない」から「同僚にお願いできる」という気持ちの余裕ができた。

まとめ

校務DXの一環としてチャットツールを活用し、電話連絡に関する情報共有を徹底することで、学校における電話連絡の課題を解決し、業務効率化、保護者との信頼関係構築、生徒の安全確保に繋げることができた。



チャットによる教職員間での架電状況の共有